



始

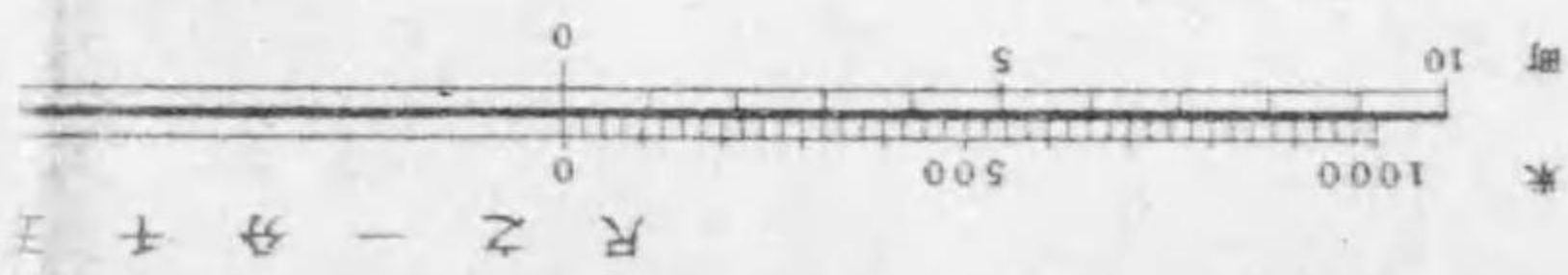




372-433



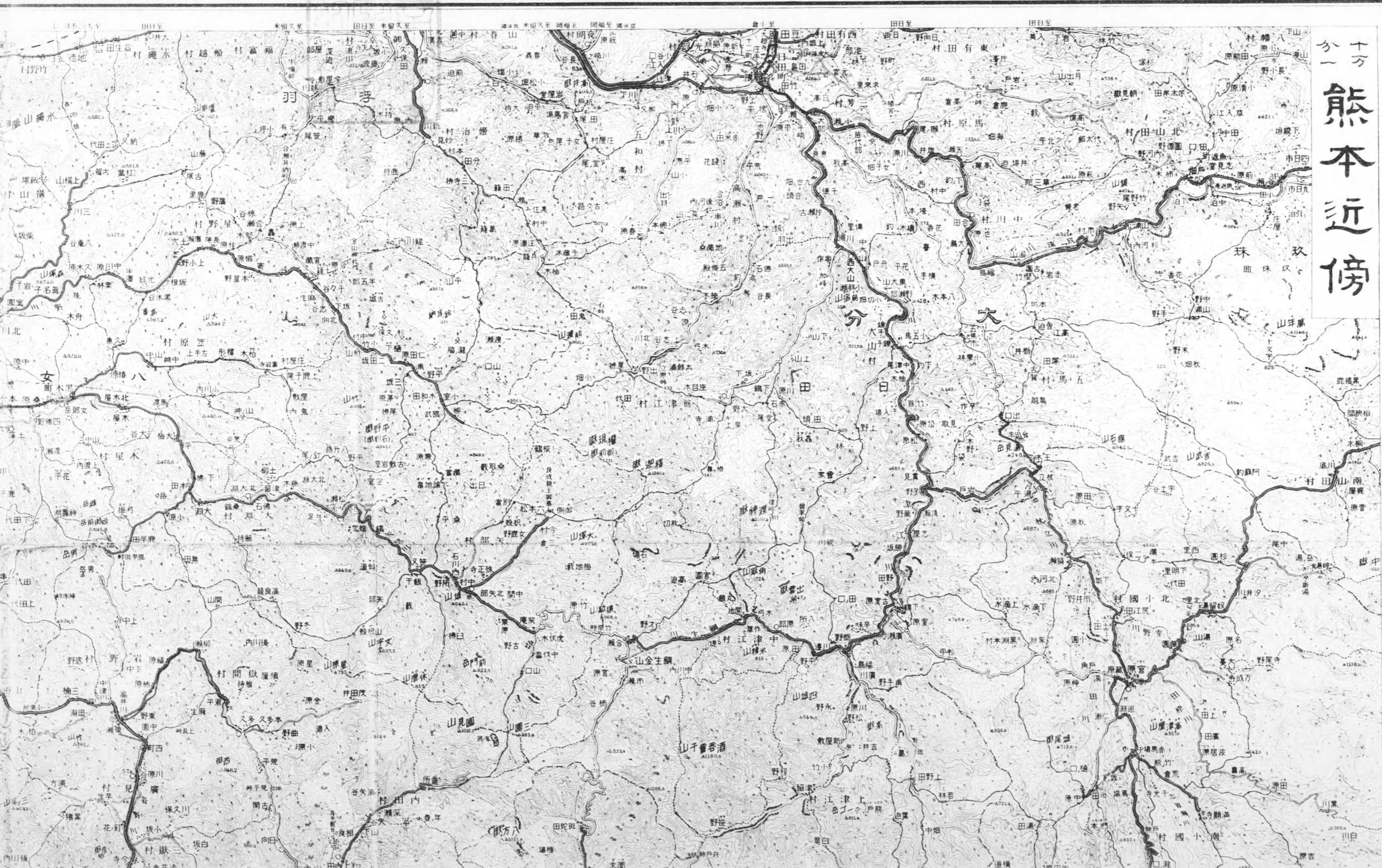
0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000 牧内至



女子及まじこか至鳥冠庵至  
りいかに至



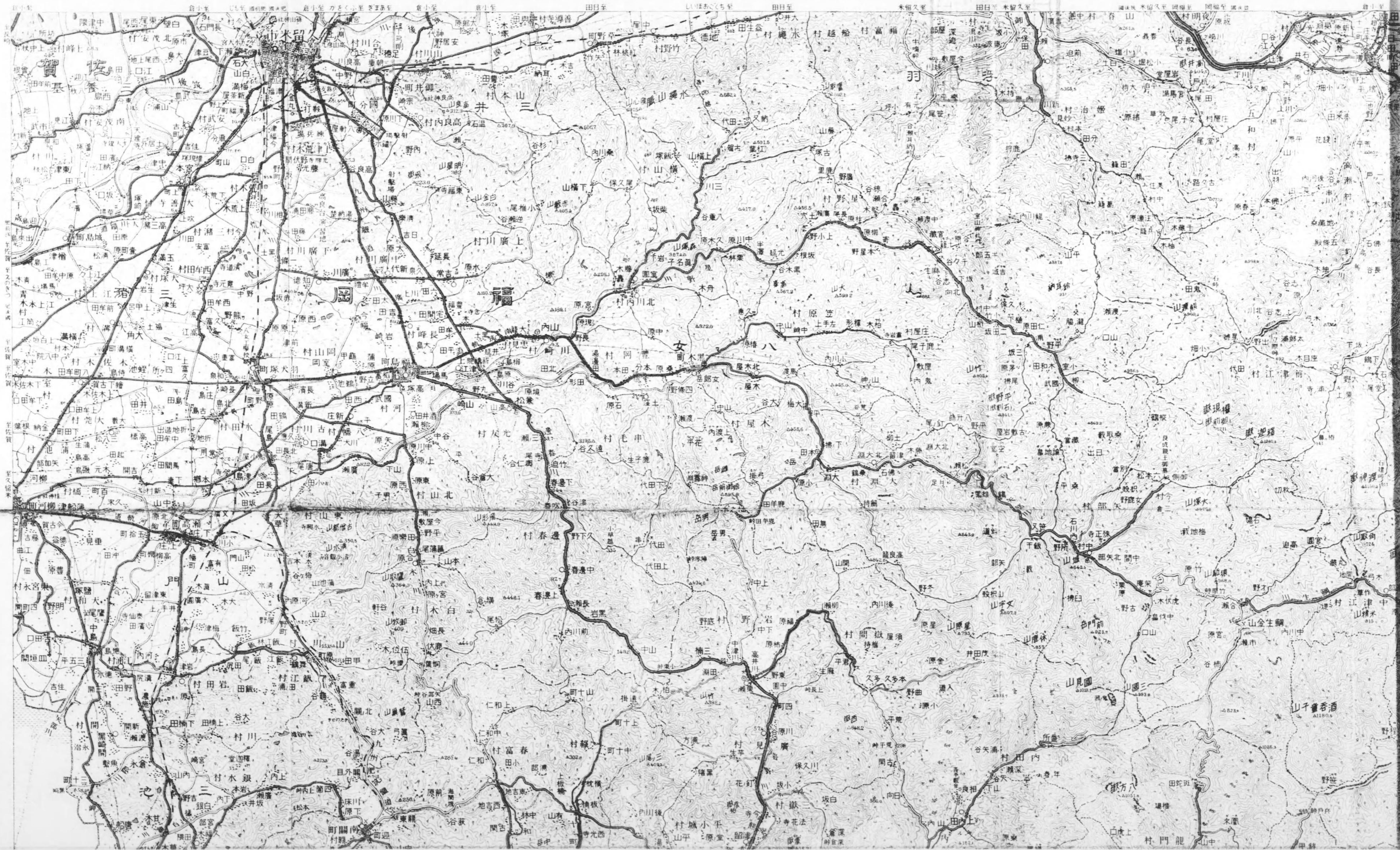




十分  
熊本近傍

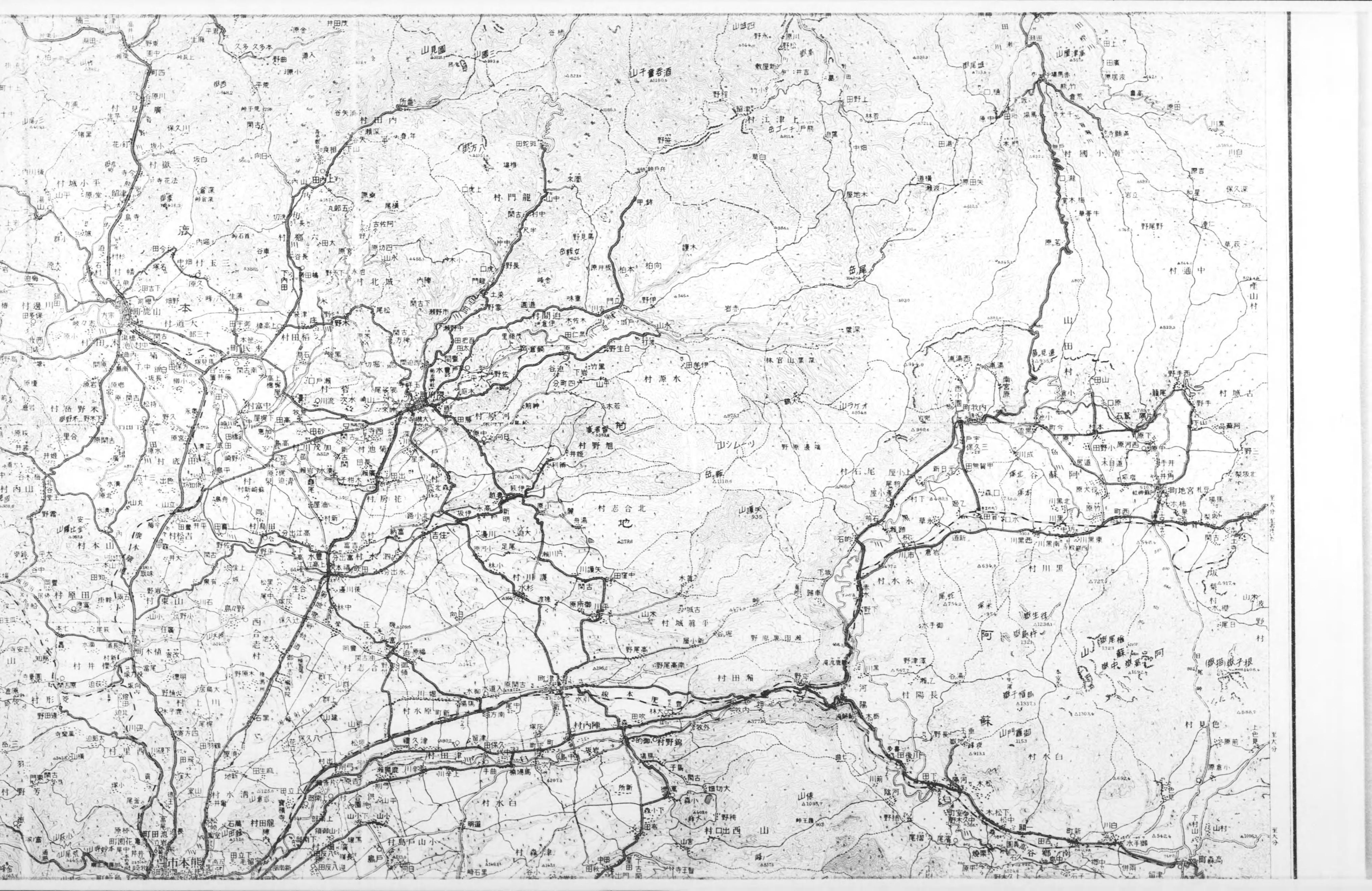




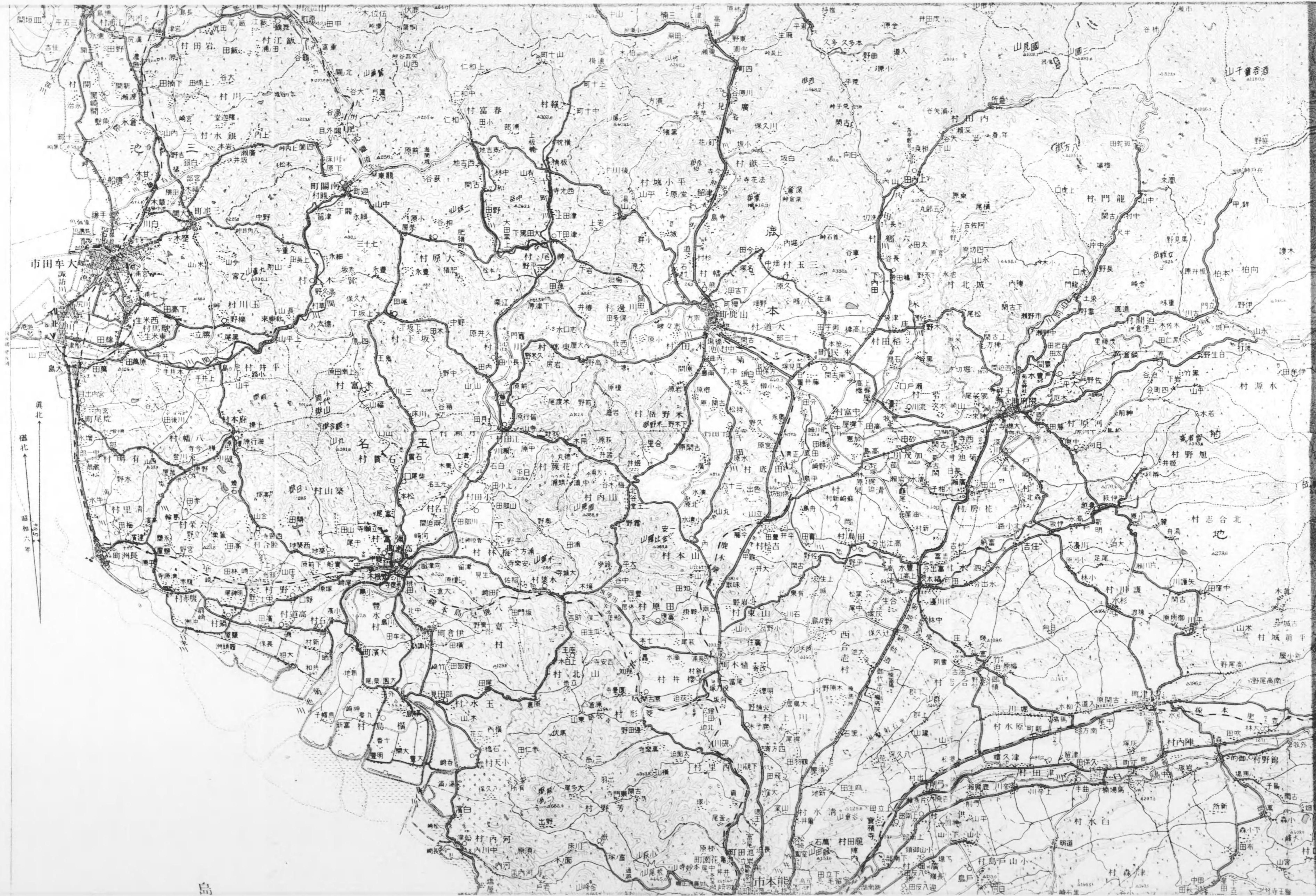


山子香酒









市田大

本

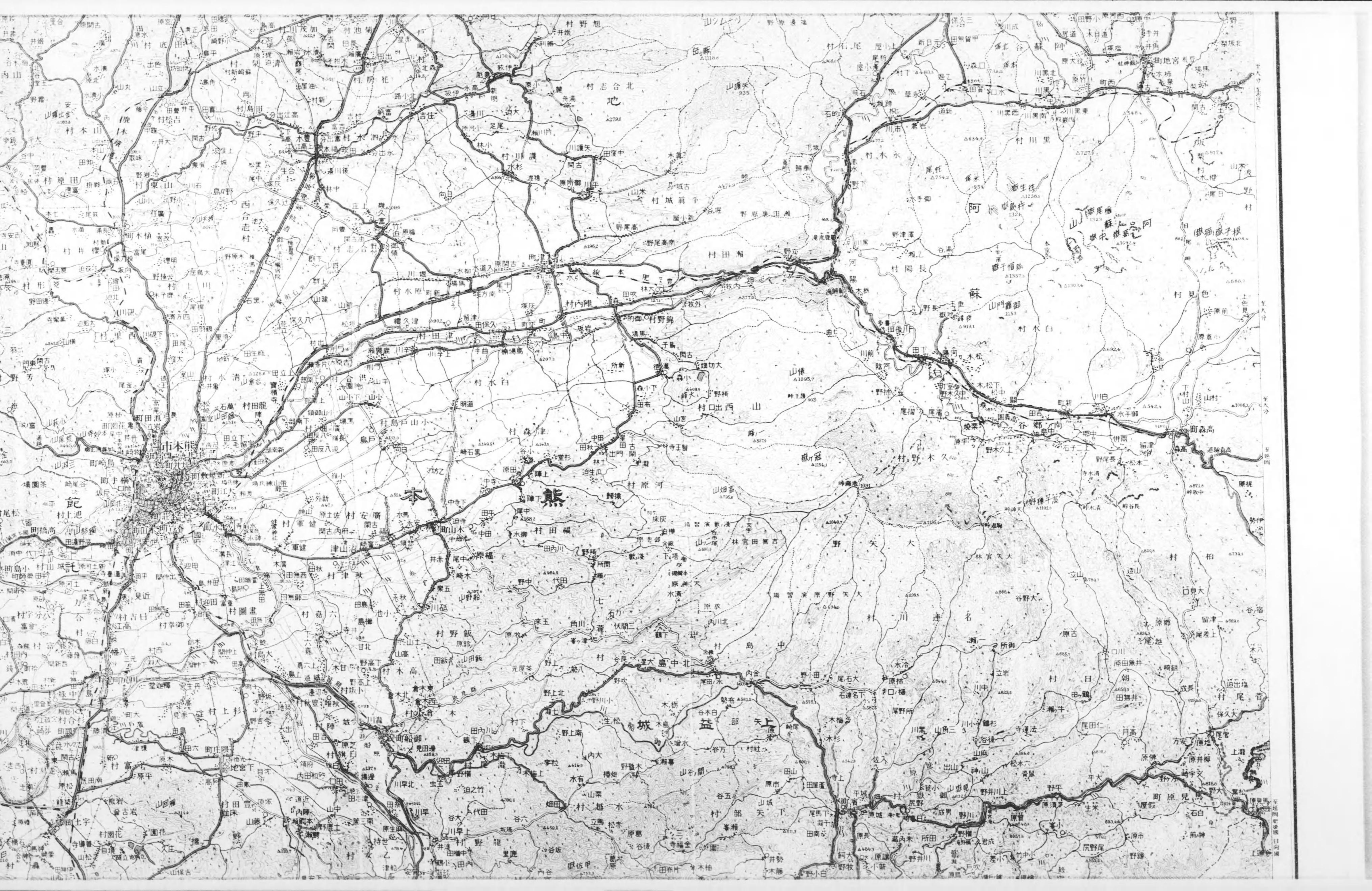
山子香香

北  
昭和六年

地

市木能







昭和六年



島原海灣

土宇

益

城

木島

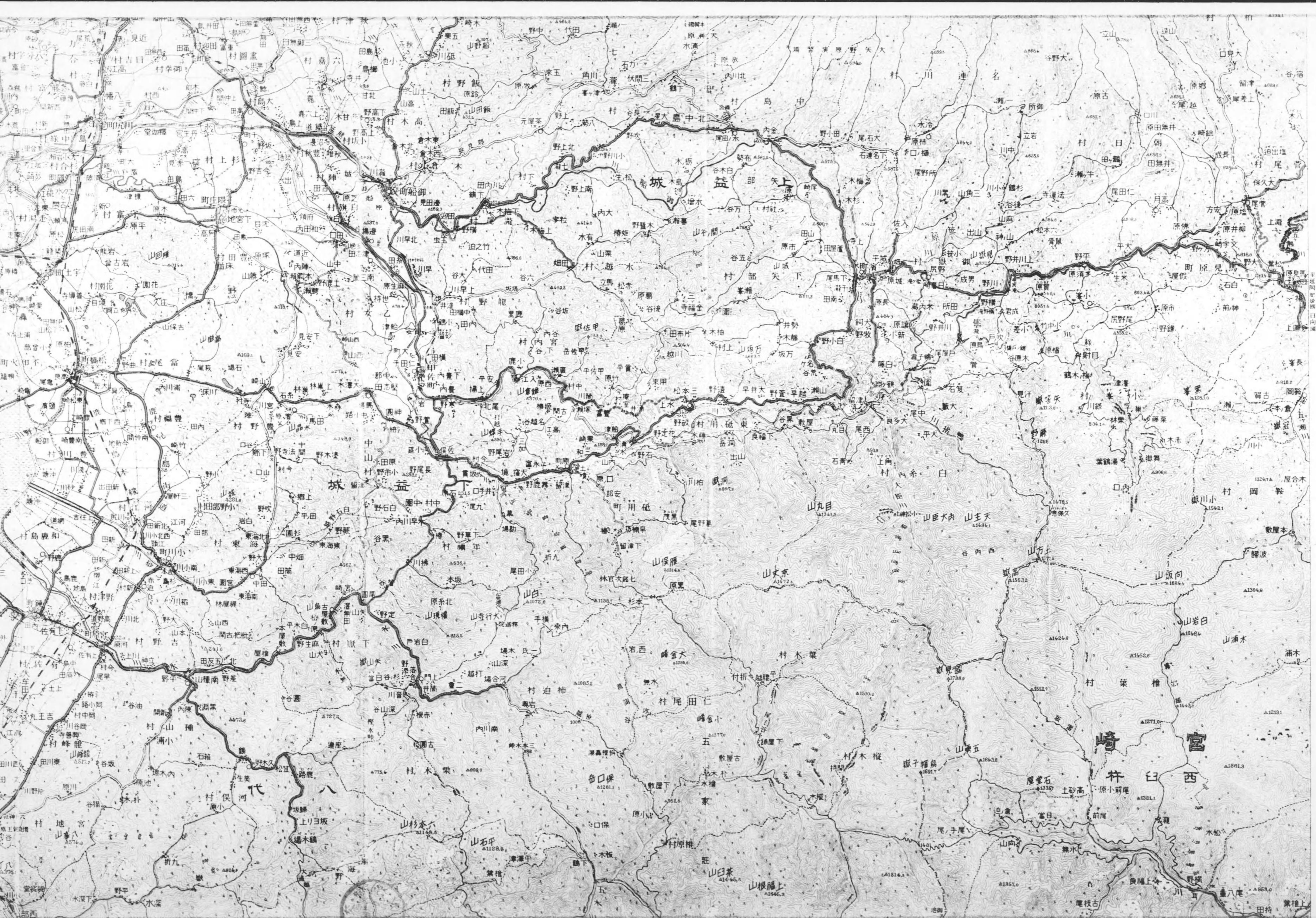
山

谷

木

村





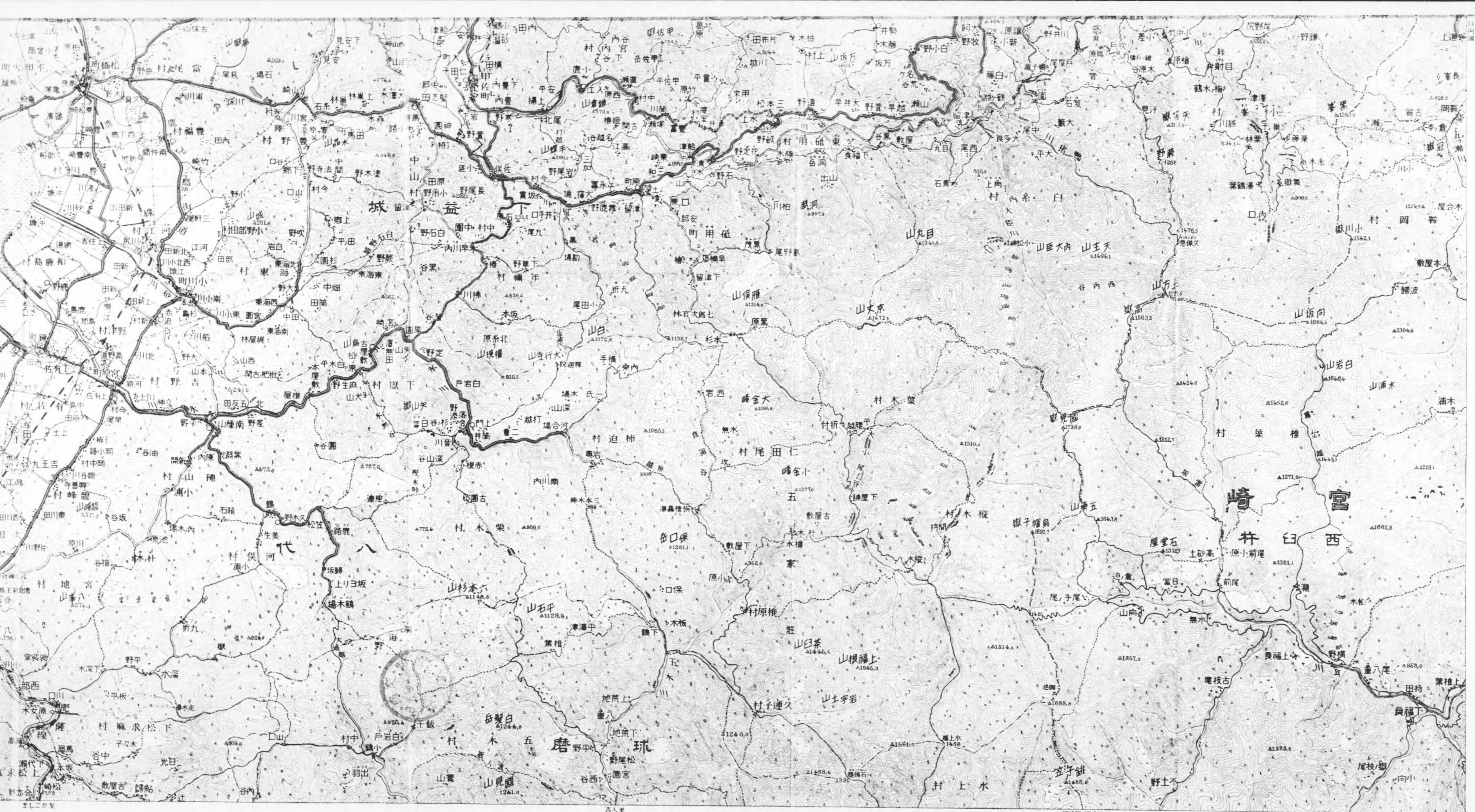
定期自動車道、昭和六年五月地方官署、調査、林、山、川、湖、池、地形、測量、正、未、了、



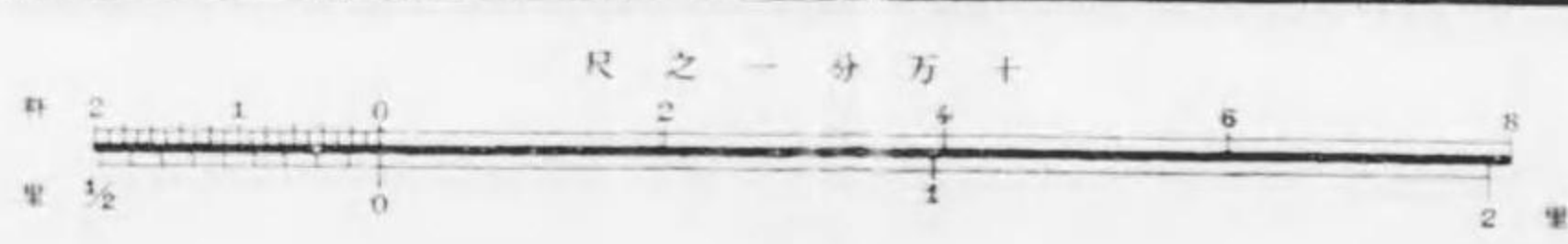


昭和六年九月五日印刷同九月十日發行 著者 櫻井 有山





定期自動車道、昭和六年五月地方官廳ノ調査ニ據リ点線ノ部ニ地形圖修正未了ノ爲道路記入ナキモ自動車道トス



田
  林尙
  道車動自期定

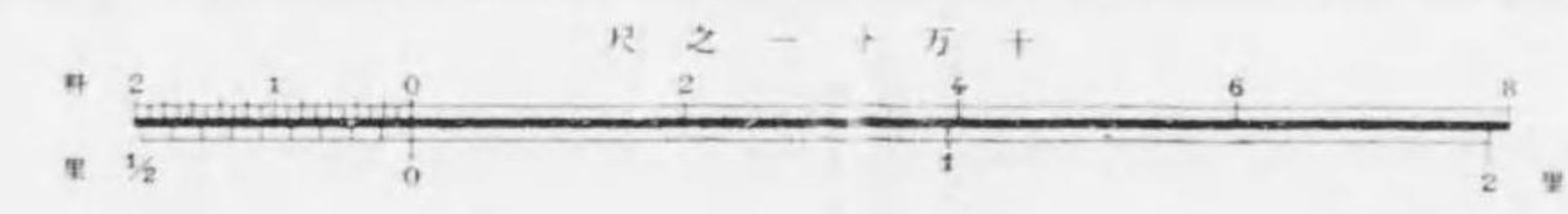




昭和六年五月印刷 同日發行 著者所有印刷權

陸地測量部

發售所東京





### ◎ 地形圖の読み方

書を読むには先づ文字を知らなければならぬ様に地圖を讀むには其圖式を知つて置く必要がある總て地圖上の畫線には一點一劃の微と雖も皆夫々意味があるのて讀圖者は圖式を通して之れを了解し始めて現地に臨む實感を生じ地圖の價値をはつきりと認め得らるゝのである

一、距離を知る事 地圖上の二點の距離か現地では幾何に相當するかを見るには其圖側にある尺度を以て測ればよいのであるか圖形は總て正射投影であるから其水平距離であると云ふことに注意すべきである

二、高低を知る事 土地の高低は水平曲線と稱する線に依つて現はしてある此線は地表面の同じ高さの諸點を連ねて出來た等高線で一定の高さの隔りて海面から始まり段々と高地に進み山の頂上に終るものて之を地圖上に投影したものが即ち水平曲線である隨つて同一尺度の地圖に於て水平曲線の多い山程高く又曲線間隔の狭い程斜面が急峻なものである、水平曲線には首曲線(計曲線)間曲線(間曲線)助曲線(助曲線)の四種あるか首曲線が主て他は補助的のものである首曲線と首曲線との距離は地圖毎に一定(等距離と稱す)してあるから首曲線の數さへ讀めば正確な高さを知ることが出来るけれども餘り此曲線が多くなると讀むに不便だから五本毎に線を太くし之を計曲線と稱して居る間曲線や助曲線は地形の局部を詳しく現す時に必要になるのて間曲線は首曲線の中間に助曲線は首、間曲線の中間に挿入するのである尙曲線の所々には讀むに便する爲數字を以て其曲線の高さを示し是等によつて地圖上に於ける土地の高低が判るのである此の外傾斜を讀むには水平曲線の地圖上の間隔と曲線の等距離に據つて計算すれば容易に知る事が出来る

三、地物を讀む事 地上に存在する植物建築物河川等は之に比例して描き現はす事の出來ないものがある例へは河川の長さや市街の廣さの如きものは描き現はし得るも植物や家屋の種類等は描き現はし難いものて夫等の描き現はし難いものは其形狀を象とり或は特別な形を記號を設けてある即ち下方に掲げられてあるは地形圖圖式記號である

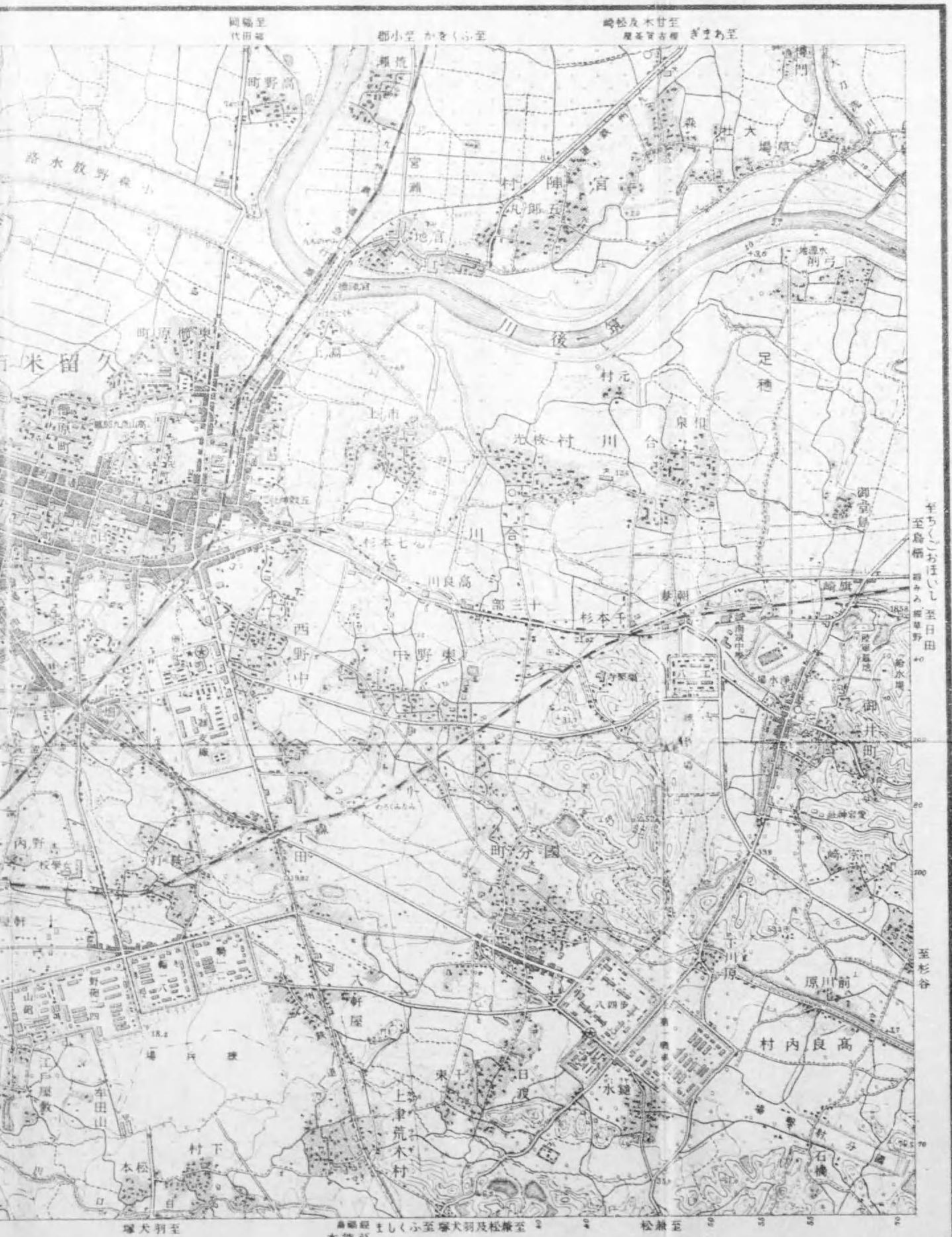
四、方位、測量年次を知る事 方位は測量部發行のものには上部が北で磁石方位は西偏して居る又地圖の測量年次は其圖郭外に示してある尙測量年次は地圖使用上の價値に關係することが多い即ち地圖は時々修正せらるゝから陸地測量部のものには其發行區域一覽圖(毎年三月、九月修正する)を参照して成るべく新しいものを使用すべきである

五、梯尺の大きさを願慮して使用すること 縮小の比を明かにする爲め如何なる地圖でも梯尺の無いものは殆んど無い譯であるそうして縮小の程度は使用する目的に依つて變化すべきものて陸地測量部發行の地圖て例を擧げると

- イ、大地域を一目の下に通覽して一覽的概念を得るには五十万分一與地圖及百万分一萬國圖、二百万分一大日本與地圖等
  - ロ、旅行又は土地の大勢を知るには二十万分一帝國圖ハ、綜合的地形を知り又は一地方の旅行用には五万分一地形圖
  - ニ、各種事業の施設其他特別の目的の爲め局地の精細を知るには一万分一又は二万五千分一地形圖
- 等て梯尺の差違は單に距離幅員等に關係するばかりでなく地形描畫の粗密程度にも影響するから地圖は其使用する目的に應ずるものを用ゆる必要がある

## 久留米

(二万五千分一地形圖)





多くなると読むに不便だから五本毎に線を太くし之を計曲線と稱して居る間曲線や助曲線は地形の局部を詳しく現す時に必要になるので間曲線は首曲線の中間に助曲線は首、間曲線の中間に挿入するのである尙曲線の所々には「讀」に便する爲数字を以て其曲線の高さを示し是等によつて地圖上に於ける土地の高低を判るのである此の外傾斜を讀むには水平曲線の地圖上の間隔と曲線の等距離に據つて計算すれば容易に知る事が出来る

# 久留米

(二万五千分一地形圖)



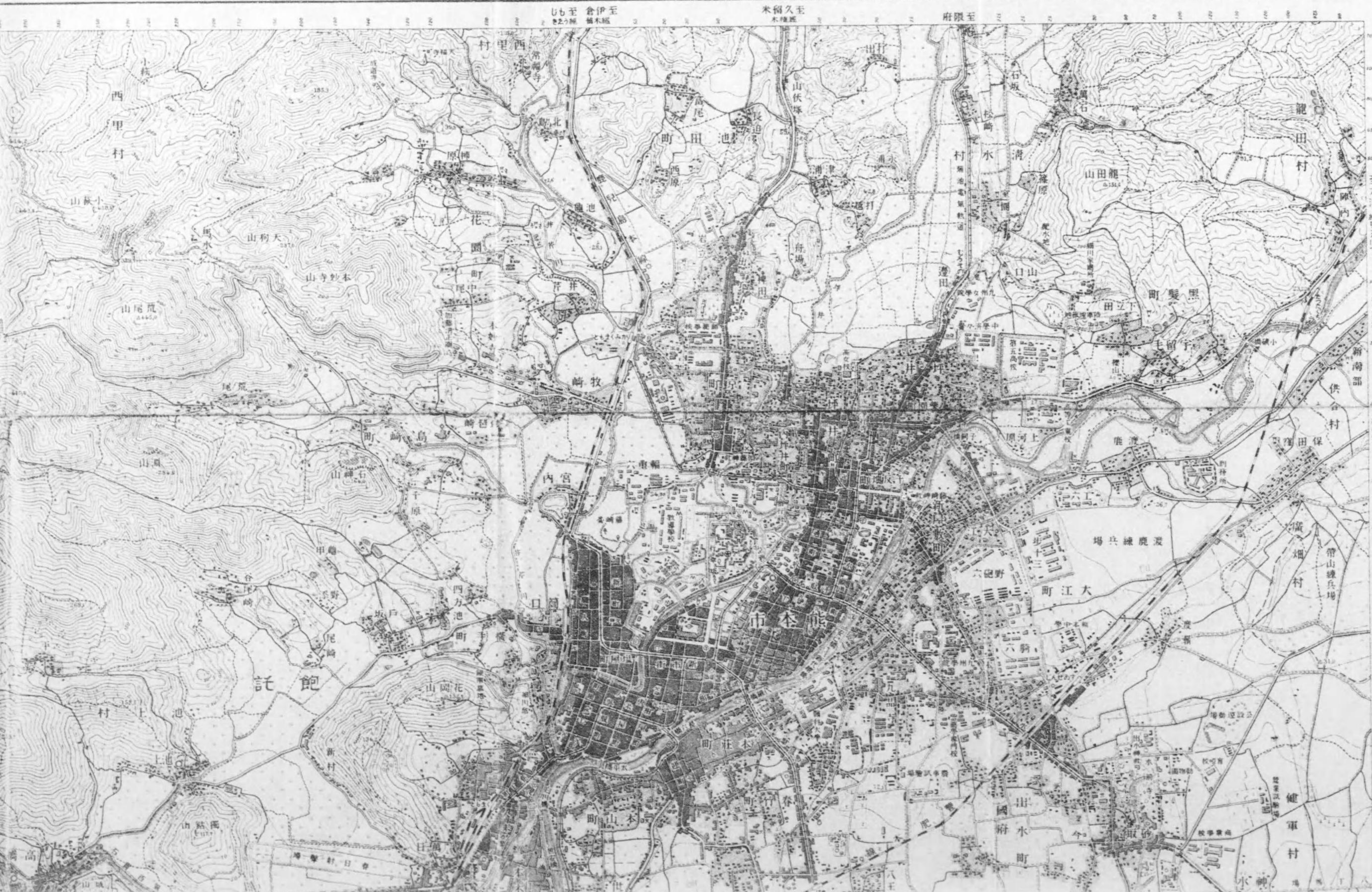
大正十五年測圖昭和六年部分修正測圖

大日本輿地圖等  
 口、旅行又は土地の大勢を知るには二十万分一帝國圖  
 ハ、綜合的知識を知り又は一地方の旅行用には五万分一地形圖  
 ニ、各種事業の施設其他特別の目的の爲め局地の精細を知るには一万分一又は二万五千分一地形圖  
 等を梯尺の差違は單に距離幅員等に關係するばかりでなく地形描畫の粗密程度にも影響するから地圖は其使用する目的に應ずるものを用ゆる必要がある





地上に存在する植物建築物河川等  
 として描き現はす事の出来ないものがある  
 の長さや市街の廣さの如きものは描き現  
 植物や家屋の種類等は描き現はし難いも  
 描き現はし難いものは其形状を象とり或  
 し記號を設けてある即ち下方に掲げられ  
 形圖圖式記號である  
 から成立さへ判れは略ぼ其地物を讀むこ  
 が多種多様な地物を善く讀むには其圖式  
 を得るの必要である尙地圖の讀方を  
 その爲めに地形圖圖式説明(二枚一組)と  
 其圖式とを判り易く對照してある色  
 測量部から發行(地圖販賣店で發賣して  
 次を知ること 方位は測量部發行のもの  
 磁石方位は西偏して居る又地圖の測量  
 外に示してある尙測量年次は地圖使用  
 關係することが多い即ち地圖は時々修正  
 の陸地測量部のもは其發行區域一覽圖  
 九月修正する)を参照して成るべく新ら  
 使用すべきである  
 を願慮して使用すること 縮小の比を明  
 如何なる地圖でも梯尺の無いものは殆  
 であるそうして縮小の程度は使用する目  
 變化すへきもので陸地測量部發行の地圖  
 目の下に通覽して一覽的概念を得るに  
 輿地圖及百万分一萬國圖、二百萬分一  
 土地の大勢を知るには二十萬分一帝國圖  
 形を知り又は一地方の旅行用には五萬分  
 の施設其他特別の目的の爲め局地の精細  
 一萬分一又は二萬五千分一地形圖  
 左邊は單に距離幅員等に關係するばかり  
 描畫の粗密程度にも影響するから地圖は  
 目的に應ずるものを用ゆる必要がある



# 熊本

(二萬五千分一地形圖)

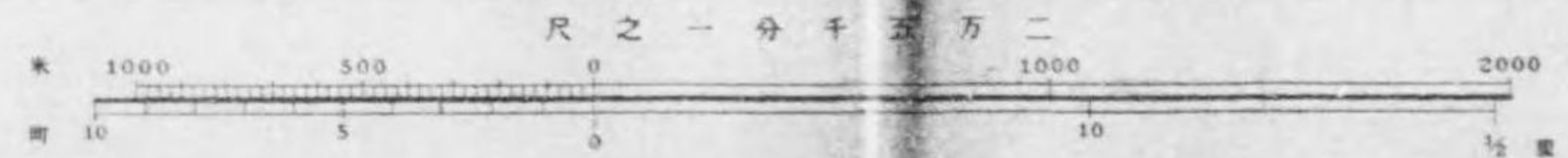








至大津 至木山及御船 佐甲及船御至 むすみ及まじこ至 島兒巖至



阿蘇山

至おはいた





地 形 圖 式 記 號  
(式年六正大)

明治三十五年測圖大







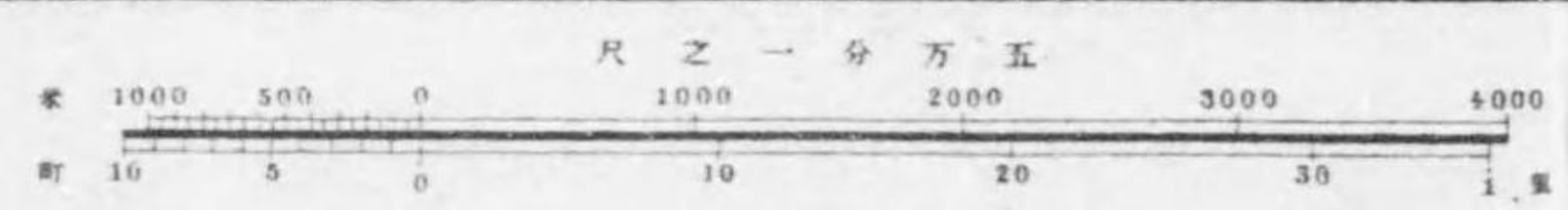






# 蘇山

(五万分一地形圖)









372  
433

方圖に就て

十五年修正、昭和六年部分修正せる實測五万分一地形圖を縮圖  
を知り得ると同時に局部的の地物をも讀むことが出來尙地形  
の方面に用ゐられ頗る便利な地圖である  
は右の地形圖圖式記號に準ず



本圖は熊本市を中心とし實測地形圖より新に編纂したるものにして東は阿蘇山より西は柳河町と三角町の線に及ひ北は久留米市と日田町の線より南は日奈久町、五家莊一帶に及ぶ東西約十八里南北約三十里に亘る十万分一地方圖なり。昭和六年同地方に於て特別大演習を舉行せらるゝを機會に出版したるものにして特に圖を讀み易からしむる爲め水平曲線は褐色、森林地帯は綠色、水田は黄色、水部は藍色、定期自動車道は赤色の多色刷にて表はし且つ地圖の裏面には熊本市久留米市の二万五千分一地形圖及阿蘇山附近の五万分一地形圖印刷しあるを以て演習陪觀に有利なるは勿論其他一般の旅行者及諸調査等に使用し便利なり。

定價金參拾五錢

終